

## 福井県三国町の事例

愛知県稲沢保健所 澁谷 いづみ

|                            |                                    |  |
|----------------------------|------------------------------------|--|
| 自治体の概要                     | 人口 23,677 人 九頭竜川の河口に広がる 東尋坊が有名     |  |
| 一<br>押<br>し<br>の<br>事<br>業 | 事業名                                | すくすく教室   |
|                            | 事業の目的                              | 専門家からの育児技術のアドバイスを受け、母親同士の仲間づくりのきっかけを作る   |
|                            | 対象者                                | 生後1～3ヶ月児をもつ母親  |
|                            | 事業の概要                              | 身体計測の後、助産婦による学習会、グループ討議<br>母親同士による話し合いで仲間づくり<br>希望者には個別指導を行う                                       |
|                            | 事業の開始時期                            | 平成7年度  |
|                            | 事業の実施に至った<br>きっかけ<br>(事業の開始の背景)    | 核家族化が進み、母親一人で育児をすることが多くな<br>った。そのフォローと仲間づくりをしたいと考えた<br>1～3か月児の相談機関がなかった                            |
|                            | 実施についての職場内<br>部の合意形成               | 課の事業として、課内協議をし、予算化した   |
|                            | 予算、人的体制<br>補助金の有無と種類               | 講師謝礼：8,000円×4回=32,000円<br>郵送料：50円×250枚=12,500円<br>教材費：7,500円×4回=30,000円<br>栄養材料費：5,000円×4回=20,000円 |
|                            | 対象者の把握及び選定方<br>法（ルーチンワークとの<br>関連）  | 母子カードから1～3か月児の母親全員を把握  |
|                            | 関係機関への協力要請<br>(担当者、手段、協力要<br>請の手順) | 助産婦、福祉保健課職員（乳児医療担当）  |
|                            | 事業の実施要領づくりに<br>参画した人               | 保健婦  |
|                            | 実施できた促進要因                          | 5か月児では、もうある程度家庭での育児パターンが<br>できてしまっているため、4か月までが重要。<br>また、子育て支援センターに行くには小さすぎる<br>1～3か月児の相談機関がなかった    |
|                            | 阻害要因とその克服                          | 乳児がいると、母親が聞きたいことをじっくり聞け<br>ないので、参加者の児に対する託児サービスを行った<br>福祉センターまで出てくるのが大変な母親が参加し<br>たくなるような内容を考えた    |
|                            | サービスの受け手の感想                        | 5年目なので、アンケートを実施して評価したい   |
|                            | 担当者の感想                             | こういった機会や場所をもっと増やしたい<br>自由に母と児が集まれる場の提供をしたい<br>育児に専念している母親の話を聞いていきたい<br>各団地などへ入り込んで話をしたい            |
|                            | 取り組みについてのPR                        | 妊婦教室の時の電話や広報を行う<br>訪問時、母子手帳交付時<br>パンフレットを作成し、小児科外来に置いてもらう  |
| 事業効果の評価指標                  | 5年目なので、アンケートを実施して評価したい             |  |
| 反響や波及効果                    | 参加人数が増加した                          |  |
| 今後の課題                      | 場所の提供、子育て支援センターのと連携                |  |

|                      |   |  |     |     |     |     |     |
|----------------------|---|--|-----|-----|-----|-----|-----|
| ルーチンワーク              | 各事業の目的をスタッフで確認しているか   | 事業の計画時やミーティングで確認している                           |     |     |     |     |     |
|                      | モニタリングとして位置付けているか   | は い  |     |     |     |     |     |
|                      | 事業委託の有無   | 妊婦健診(3回), 乳児健診(2回)を医療機関委託訪問時や育児相談時にその効果を確認している |     |     |     |     |     |
|                      | 直営で実施するメリットを発揮できているか  | 身近で参加者が多い                                      |     |     |     |     |     |
|                      | ルーチンワークで対応しきれない対象者を把握しているか                                      | 把握された対象者は保健所や保育所と連携                            |     |     |     |     |     |
| 計画の進行管理              | 担当課, 担当係内における進行管理の状況  | 見直し時に策定委員会を開催する予定                              |     |     |     |     |     |
|                      | 進行管理組織の構成   | 5年後の見直しの時に委員を再考したい                             |     |     |     |     |     |
|                      | 進行管理組織に下部組織があるか   | な し  |     |     |     |     |     |
|                      | 関係機関の取り組みについての情報提供  | な し  |     |     |     |     |     |
|                      | 評価指標についての論議が行われているか?  | いない  |     |     |     |     |     |
| 母子保健事業評価             | 評価指標の決定プロセス   | 不 明  |     |     |     |     |     |
|                      | 評価指標は関係者により認知されているか   | 不 明  |     |     |     |     |     |
|                      | 評価のための情報収集  | 県の事業で, 母子保健事業の評価を実施している                        |     |     |     |     |     |
|                      | 評価結果を住民や関係者に還元しているか   | いいえ  |     |     |     |     |     |
| マンパワー                | マンパワーの変化  |  | H 7 | H 8 | H 9 | H10 | H11 |
|                      |   | 保健婦  | 5   | 6   | 6   | 6   | 5   |
|                      |   | 栄養士  |     |     | 1   | 1   | 1   |
|                      | マンパワー増の決め手  | 補 充  |     |     |     |     |     |
|                      | 保健所との人事交流   | な し  |     |     |     |     |     |
|                      | 自治体内の専門職の異動   | な し  |     |     |     |     |     |
| 予 算                  | 予算の変化(印象)   | 不 変  |     |     |     |     |     |
|                      | 予算増加の決め手  |  |     |     |     |     |     |
|                      | 評価指標の有効性  | 不 明  |     |     |     |     |     |
| 住民の主体性               | 主体性が向上したか   | 不 明  |     |     |     |     |     |
|                      | 主体性向上を示す具体例   |  |     |     |     |     |     |
|                      | 主体性を引き出すために有効だった取り組み例   |  |     |     |     |     |     |
| 計画を推進するうえでの困難        | 保健センターがなく, 相談などをじっくり聞ける場がない<br>マンパワー不足で訪問指導の目標値が達成できない          |  |     |     |     |     |     |
| 計画の見直しに向けての抱負とその阻害要因 | 思春期に関するものが不十分なので, 計画に盛り込みたい<br>他課との協力を得ながら, 策定したい               |  |     |     |     |     |     |
| 保健所への期待              | マンパワーの協力<br>共同事業の実施<br>療育児在宅育児支援相談会<br>坂井郡内で乳幼児, 学童の健康栄養指導調査の実施 |  |     |     |     |     |     |